

幼兒教育學科

幼 児 教 育 学 科

平成27年度入学者対象（学生番号「2215・・・」）

＜卒業に必要な単位数＞

科 目 区 分		単 位 数	
必 修 科 目	専門教育科目	18	22単位
	外国語科目	4	
選 択 必 修 科 目	専門教育科目	66	88単位以上
	共通教育科目	20	
	健康ｽﾍﾞｰﾙ科目	2	
選 択 科 目	専門教育科目	14単位以上	
	共通教育科目		
	外国語科目		
	健康ｽﾍﾞｰﾙ科目		
	他学科開設科目		
	教職・資格関係科目		
合 計		124単位以上	

幼児教育学科

本学科は、乳幼児教育の豊かな専門知識と優れた実践技術を身につけ、複雑で多様化する現代社会において、主体的に適応していける能力の育成を目指しています。そのため、カリキュラムは、乳幼児教育に関する広い基礎知識と高度な専門知識が学習・研究・実践できるよう豊富な授業科目を設けています。特に専門教育科目の「幼児教育体験学習」「教職の研究」「発達心理学」を学科卒業必修科目として位置づけることにより、幼児教育の基本原理や発達特性、また現代社会における様々な問題について理解を深める中で、子どもの育ちと関連させながら学習を進めていくことが出来ます。また演習・実習・実技科目を充実させ、保育・幼児教育のみならず、乳幼児に関連する様々な分野に役立つ広い専門知識の修得が可能です。特に少人数グループでの演習形式授業を1年次から行ないます。更に幼稚園教諭1種免許状、保育士資格を取得できるよう、教育内容も整えています。3年次からは「卒業研究演習」が始まり、4年次には学生生活のまとめとして、「卒業研究」を行なうことになっています。4年間の学生生活を通じて、卒業に必要な単位を最低限取得するのではなく、自分自身の学問的な興味や、将来の進路などを考慮して、計画的に履修することが望まれます。

※卒業必要単位数のうち、3年次終了までに、修得合計単位数が86単位に満たない者は、4年次において「卒業見込証明書」は交付されません。

専門教育科目一覧表（必修）

科目名	単位	期間	年次	教職	教科	保育士	副専攻	他学科生への開放	備考
基礎ゼミナル	2	半期	1					×	
幼児教育体験学習 体験から学ぶコミュニケーション力	2	通年	1			○		×	
発達心理学	2	半期	1	●		●		×	
教職の研究	2	半期	1	●		●		×	
卒業研究演習	4	通年	3					×	
卒業研究	6	通年	4					×	

専門教育科目一覧表（選択必修）

科目名	単位	期間	年次	教職	教科	保育士	副専攻	他学科生への開放	備考
国語	2	半期	2		○			×	66単位以上
算数	2	半期	2		○			×	
生活	2	半期	3		○			×	
音楽Ⅰ	2	通年	1		●	●		×	
音楽Ⅱ(1)	2	半期	2		○	○		△	
音楽Ⅱ(2)	2	半期	2		○	○		△	
図画工作Ⅰ	2	通年	1		●	●		×	
図画工作Ⅱ(1)	2	半期	2		○	○		△	
図画工作Ⅱ(2)	2	半期	2		○	○		△	
体育Ⅰ	2	通年	1		●	●		×	
体育Ⅱ(1)	2	半期	2		○	○		△	
体育Ⅱ(2)	2	半期	2		○	○		△	
言語表現技術	2	半期	1			●		×	
教育原理	2	半期	1	●		●		×	
教育史	2	半期	2～4	○		○		△	
教育心理学	2	半期	2	○		●		×	
教育法規(教育行政を含む)	2	半期	2～4	○				△	
教育社会学	2	半期	2～4	○				△	
カリキュラム論	2	半期	2	●		●		△	
幼児指導法総論	2	半期	3	○		○		△	
保育内容総論	2	半期	1	○		●		△	
保育内容健康の指導法	2	半期	2	●		●		△	
保育内容人間関係の指導法	2	半期	2	●		●		△	
保育内容環境の指導法	2	半期	3	●		●		△	
保育内容言葉の指導法	2	半期	2	●		●		△	
保育内容表現の指導法	2	半期	3	●		●		△	
保育内容演習(1)	2	半期	3～4	○		○		△	
保育内容演習(2)	2	半期	3～4	○		○		△	
保育内容演習(3)	2	半期	3～4	○		○		△	
保育内容演習(4)	2	半期	3～4	○		○		△	
保育内容演習(5)	2	半期	3～4	○		○		△	
幼児音楽指導法(1)	2	半期	2～3	○		○		△	
幼児音楽指導法(2)	2	半期	2～3	○		○		△	
幼児音楽指導法(3)	2	半期	3～4	○		○		△	
幼児音楽指導法(4)	2	半期	4	○		○		△	
幼児造形指導法	2	半期	2	○		○		△	
幼児体育指導法(1)	2	半期	2～3	○		○		△	
幼児体育指導法(2)	2	半期	3～4	○		○		△	
保育の方法と技術	2	半期	3	●		○		△	
幼児理解の理論と方法	2	半期	2	●		○		△	
カウンセリング概論	2	半期	2	●		○		×	
教育実習演習(事前・事後指導)	1	後・前	3・4	●				△	
教育実習	4	—	3・4	●				△	
保育・教職実践演習(幼稚園)	2	半期	4	●		●		×	

社会福祉	2	半期	1			●	女	×
相談援助	2	半期	2			●		×
児童家庭福祉	2	半期	1			●		×
保育原理	2	半期	1			●		×
社会的養護	2	半期	2			●		×
子どもの保健Ⅰ	4	通年	2			●		△
子どもの保健Ⅱ	1	半期	2～3			●		×
子どもの食と栄養	2	半期	1			●		×
家庭支援論	2	半期	3			●		△
乳児保育	2	半期	1			●		×
障害児保育	2	半期	2			●		×
社会的養護内容	2	半期	3			●		×
保育相談支援	2	半期	3			●		×
保育実習演習Ⅰ(事前・事後指導)	1	後期	2			●		×
保育実習演習Ⅱ(事前・事後指導)	1	通年	3			●		×
保育実習演習Ⅲ(事前・事後指導)	1	通年	3			●		×
保育実習Ⅰ	2	後期	2			●		×
保育実習Ⅱ	2	通年	3			●		×
保育実習Ⅲ	2	通年	3			●		×
臨床心理学	2	半期	3			○		×
児童文化	2	半期	3～4			○		△
乳幼児発達障害	2	半期	3					×
造形研究	2	半期	3～4					×

専門教育科目一覧表（選択）

科目名	単位	期間	年次	教職	教科	保育士	副専攻	他学科生への開放	備考
ピアノ演習(1)	2	通年	2～4					×	
ピアノ演習(2)	2	通年	2～4					×	
弾き歌い演習(1)Ⅰ	2	通年	3～4					×	
弾き歌い演習(1)Ⅱ	2	通年	3～4					×	
弾き歌い演習(2)Ⅰ	2	通年	3～4					×	
弾き歌い演習(2)Ⅱ	2	通年	3～4					×	
声楽研究	1	半期	3～4					△	
情操教育論	2	半期	1～4					○	

注) 選択科目は、専門教育科目の選択必修科目及び選択科目、共通教育科目、外国語科目、健康スポーツ科目、他学科開設科目、教職・資格関係科目等から14単位以上修得しなければなりません。

「保育内容演習」を履修する場合は、「保育内容の指導法」を先に履修してください。

<科目一覧表の見方> (●:必修科目 / ○:選択科目)

- ・教 職 … 教育職員免許状幼稚園教諭一種の教職に関する科目
- ・教 科 … 教育職員免許状幼稚園教諭一種の教科に関する科目
- ・保育士 … 「保育士」の資格に関する科目資格
- ・副専攻 … 日:日本語教員養成コース、女:女性・社会コース、生:生命・健康コース、芸:芸術コース、地:地域研究コースに関する科目

詳細については、後頁の履修方法(保育士)・教職課程・資格・副専攻を参照してください。

幼児教育学科 履修モデル

教育・保育に関する専門的な知識・技術を修得するとともに、これらを活かして、広く社会に對する感謝の心と使命感を持ちつつ奉仕する女性を育成する。					
人育成目標	①教育・保育に関する専門的な技能	②乳幼児の心身の発達に関する理解	③表現力の習得	④問題発見・解決力の育成	⑤使命の自覚と社会奉仕の精神の育成
養成する力	教育・保育の専門的な知識の理論を具体化する。	乳幼児の心身の成長に応じた援助や指導を学ぶ。	実習を通して表現技術の実践的な力を養う。	講義を通して成功体験を積み重ね、研究能力を養う。	多くの他者と交わり、広く社会に貢献することの意義を知る。
修得能力	幼児音楽指導法(4)			卒業研究 保育・教職実践演習(幼稚園)	
4年次	保育内容表現の指導法 保育内容環境の指導法 幼児音楽指導法(3) 保育内容演習(1) 保育内容演習(2) 保育内容演習(3) 保育内容演習(4) 保育内容演習(5) 幼児指導法総論 保育の方法と技術生活	臨床心理学 乳幼児発達障害	弾き歌い演習(1) I 弾き歌い演習(1) II 弾き歌い演習(2) I 弾き歌い演習(2) II 幼児体育指導法(2) 幼児音楽指導法(3) 声楽研究 造形研究 児童文化	卒業研究演習 教育実習演習(事前・事後指導) 保育実習演習II(事前・事後指導) 保育実習演習III(事前・事後指導) 教育実習 保育実習II 保育実習III	家庭支援論 社会的養護内容 保育相談支援
3年次					
修得能力	教育・保育の基本的な原理や歴史を知る。	乳幼児の心身の成長の基本について知る。	保育職に必要な表現技術の基礎の上に応用を習得する。	社会的事象に目を向け、主体的にかかわる力の基礎を育てる。	広く社会に奉仕することの意義と役割を知る。
2年次	幼児音楽指導法(1) 幼児音楽指導法(2) 国語 算数 教育法規(教育行政を含む) 保育内容健康の指導法 保育内容人間関係の指導法 保育内容言葉の指導法 キャリア論 教育社会学 教育史	子どもの保健 I 子どもの保健 II カホリツグ 概論 教育心理学 幼児理解の理論と方法 体育 I (1) 体育 II (2) 障害児保育	ヒ7/演習(1) ビ7/演習(2) 音楽 II (1) 音楽 II (2) 図画工作 II (1) 図画工作 II (2) 幼児造形指導法 幼児音楽指導法(1) 幼児音楽指導法(2) 幼児体育指導法(1)	保育実習演習 I (事前・事後指導) 保育実習 I	相談援助 社会的養護
1年次	日本国憲法 教職の研究 保育原理 保育内容総論 保育原理	発達心理学 子どもの食と栄養 乳児保育 体育 I	図画工作 I 音楽 I 言語表現技術	幼児教育体験学習 基礎セミナー	社会福祉 児童家庭福祉 総合講座

履修方法（保育士）

本資格は、教育学部幼児教育学科に在籍し、表1～3に挙げる科目を指示のとおり履修・修得した者が取得できます。厚生労働省告示によると、必修科目は24科目51単位を修得することと定められています。本学では、下表右欄に挙げる33科目、合わせて65単位を修得しなければなりません。

表1（保育士 必修科目）

告示別表第1による教科目				本学における教科の開設状況等			
系列	教科目	授業形態	設置単位数	左記に対応して開設されている教科目	単位	年次	備考
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	2	1	
	教育原理	講義	2	教育原理	2	1	
	児童家庭福祉	講義	2	児童家庭福祉	2	1	
	社会福祉	講義	2	社会福祉	2	1	
	相談援助	演習	1	相談援助	2	2	
	社会的養護	講義	2	社会的養護	2	2	
	保育者論	講義	2	教職の研究	2	1	
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学Ⅰ	講義	2	発達心理学	2	1	
	保育の心理学Ⅱ	演習	1	教育心理学	2	2	
	子どもの保健Ⅰ	講義	4	子どもの保健Ⅰ	4	2	
	子どもの保健Ⅱ	演習	1	子どもの保健Ⅱ	1	2～3	
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	2	1	
	家庭支援論	講義	2	家庭支援論	2	3	
保育の内容・方法に関する科目	保育課程論	講義	2	カリキュラム論	2	2	
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	2	1	
	保育内容演習	演習	5	保育内容健康の指導法	2	2	
				保育内容人間関係の指導法	2	2	
				保育内容環境の指導法	2	3	
				保育内容言葉の指導法	2	2	
				保育内容表現の指導法	2	3	
	乳児保育	演習	2	乳児保育	2	1	
	障害児保育	演習	2	障害児保育	2	2	
社会的養護内容	演習	1	社会的養護内容	2	3		
保育相談支援	演習	1	保育相談支援	2	3		
保育の表現技術	保育の表現技術	演習	4	音楽Ⅰ	2	1	
				図画工作Ⅰ	2	1	
				体育Ⅰ	2	1	
				言語表現技術	2	1	
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ <保育所>	2	2	
				保育実習Ⅱ <施設>	2	3	
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習演習Ⅰ（事前・事後指導）	1	2	
				保育実習演習Ⅱ（事前・事後指導）	1	3	
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習（幼稚園）	2	4	
合計			51	65単位修得しなければなりません。			

厚生労働省告示によると、選択必修科目は9単位以上（保育実習3単位を含む）を修得することと定められています。本学では、下表右欄に挙げる26科目のうち5科目以上、合わせて9単位以上（保育実習2科目3単位を含む）を修得しなければなりません。

表2（保育士 選択必修科目）

別表第2による教科目				本学における教科の開設状況等				
系列	教科目	授業形態	設置単位数	左記に対応して開設されている教科目	単位	年次	備考	
保育の本質・目的 に関する科目	各指定保育士養成施設において設定		15 単 位 以 上	教育史	2	2～4		
				臨床心理学	2	3		
保育の対象の理解 に関する科目				保育内容演習(1)	2	3～4		
				保育内容演習(2)	2	3～4		
保育の内容・方法に関する科目				保育内容演習(3)	2	3～4		
				保育内容演習(4)	2	3～4		
				保育内容演習(5)	2	3～4		
				幼児音楽指導法(1)	2	2～3		
				幼児音楽指導法(2)	2	2～3		
				幼児音楽指導法(3)	2	3～4		
				幼児音楽指導法(4)	2	4		
				幼児造形指導法	2	2		
				幼児体育指導法(1)	2	2～3		
				幼児体育指導法(2)	2	3～4		
				児童文化	2	3～4		
				幼児指導法総論	2	3		
				保育の方法と技術	2	2		
				幼児理解の理論と方法	2	2		
				カウンセリング概論	2	2		
				幼児教育体験学習	2	1		
				保育の表現技術	音楽Ⅱ(1)	2		2
					音楽Ⅱ(2)	2		2
図画工作Ⅱ(1)					2	2		
図画工作Ⅱ(2)					2	2		
体育Ⅱ(1)					2	2		
体育Ⅱ(2)					2	2		
保育実習	保育実習Ⅱ	実習	2	保育実習Ⅲ <保育所>	2	3	保育士必修 保育士必修	
	保育実習指導Ⅱ	演習	1	保育実習演習Ⅲ(事前・事後指導)	1	3		
	保育実習Ⅲ	実習	2					
	保育実習指導Ⅲ	演習	1					
最低修得単位数				5科目以上、9単位修得しなければなりません。				

厚生労働省告示によると、教養科目は8単位以上（体育に関する講義及び実技それぞれ1単位を含む）を修得することと定められています。

本学では、下表右欄の科目を28単位以上修得しなければなりません。

表3（保育士 教養科目）

告示による教科目				本学における教科の開設状況等			
系列	教 科 目	授業形態	設置単位数	左記に対応して開設されている教科目	単位	年次	備 考
教 養 科 目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	※共通教育科目（選択必修）を履修・修得すること			20単位以上
	外国語	演習	2以上	英語Ⅰ(1)	1	1	4単位以上
				英語Ⅰ(2)	1	1	
				英語Ⅱ(1)	1	2	
				英語Ⅱ(2)	1	2	
				英会話Ⅰ(1)	1	1～4	
				英会話Ⅰ(2)	1	1～4	
				英会話Ⅱ(1)	1	2～4	
				英会話Ⅱ(2)	1	2～4	
				資格英語Ⅰ(1)	1	1～4	
				資格英語Ⅰ(2)	1	1～4	
				資格英語Ⅱ(1)	1	1～4	
				資格英語Ⅱ(2)	1	1～4	
				英語で読む文化と社会(1)	1	3	
				英語で読む文化と社会(2)	1	3	
			ドイツ語で読む文化と社会(1)	1	3		
			ドイツ語で読む文化と社会(2)	1	3		
			フランス語で読む文化と社会(1)	1	3		
			フランス語で読む文化と社会(2)	1	3		
			中国語で読む文化と社会(1)	1	3		
			中国語で読む文化と社会(2)	1	3		
			韓国語で読む文化と社会(1)	1	3		
			韓国語で読む文化と社会(2)	1	3		
	体 育	講義	1	健康スポーツ論	2	1～2	2単位
		実技	1	スポーツ(1)	2	1～2	2単位以上
				スポーツ(2)	2	1～2	
				スポーツ(3)	2	1～2	
				スポーツ(4)	2	1～2	
				スポーツ(5)	2	1～2	
				スポーツ(6)	2	1～2	
				スポーツ(7)	2	1～2	
				スポーツ(8)	2	1～2	
合 計			10	28単位以上修得しなければなりません。			